

多摩西区大会へのアドバイス

今回も残念ながら、出張となり参加できませんので、書面でアドバイスします。

<目的>

今大会は、都大会レベル。都大会への調整確認と上手い人の技を1つ以上盗むこと。

<本部対応>

- ① 到着後、本部前で全員挨拶。
- ② キャプテン（CP）・副キャプテン（副CP）は、本部先生へ「顧問・コーチが参加できませんので、連絡窓口はCP・副CPが行います」と伝える。
- ③ CP・副CPは、参加受付（青陵中の参加申請）、対戦オーダー表（おそらく予選3チームリーグなら2枚）をもらう。
- ④ CPは、直ぐに対戦オーダー表（2試合分）を記入し、本部へ提出する。
- ⑤ 試合前の顧問打合に、CP・副CPが参加し、運営注意を確認する。

<待機対応>

- ① 禁止場所（道路・野球場バックネット裏等）避けて、直ぐに荷物場所を決める。
- ② 貴重品を貴重品袋に集め、保護者へ渡す。
- ③ 準備体操（特にストレッチ）をしながら、風向きを確認する。
- ④ CPが、顧問打合の注意事項と試合コート・時間を説明する。
- ⑤ 他校（特に日南）先生・生徒には、挨拶をする。（日南優勝校に恥じないよう）
*集団から離れる（トイレ等）時は、CP・副CPに申し出る。

<試合対応>

- ① コート入りしたら、CP・副CPは、相手先生・コーチに挨拶へ行き、「顧問・コーチが参加できません。補欠含め7名のベンチ入りをお願いします。」と伝える。
*ベンチ入りは、原則的に顧問・コーチ・レギュラーしか入れない。
- ② CPは、対戦オーダー表を相手先生・コーチと交換する。
- ③ ベンチアドバイス（1分以内）は、CPまたは副CP以外は行わない。
アドバイスは、ポジション修正・風向き確認・弱い相手の確認のみ。
*いろいろな人がアドバイスをしたり、技術的なことをいうと混乱するだけ。
- ④ カウントミス・サービス順番ミス・コートチェンジミス・負傷対応の時だけ、CPまたは副CPが、プレー前に、手をT字にして主審へ大きな声でタイムを要請する。

<オムニコートの注意と戦略>

- ① コート内に入る時は、靴底の泥をしっかりと取る。（泥がイレギュラー・滑りの原因）
- ② 砂がたくさん入っているところを確認する。（弾まない、順回転は滑ってくる）
- ③ スピリットステップで膝を前に出し、踵を少し上げ、低い姿勢で待機する。
- ④ ストローク・ボレーは、ガットを通してボールを見る。（顔とラケットを近づける）
- ⑤ 1st SVS は、強く打つより、コース習いの弾まない緩いボール。カット有効。
- ⑥ カットはカット返しが来ることを想定する。
- ⑦ 相手より先に、前後左右のスペースへボール入れ、返ってくるボールを前衛が狙う。
*必ずペアとアイコンタクトしてから、味方ベンチを見る。（二人戦っている意識）